

# 中学校 A ホワイトボードの活用の実践

志藤 祐介 (習志野)  
 桃川 聡子 (八千代)  
 森田 勇輝 (千葉)

大西 耕平 (市川・浦安)  
 尾上 雄作 (船橋)  
 平田 義人 (松戸)

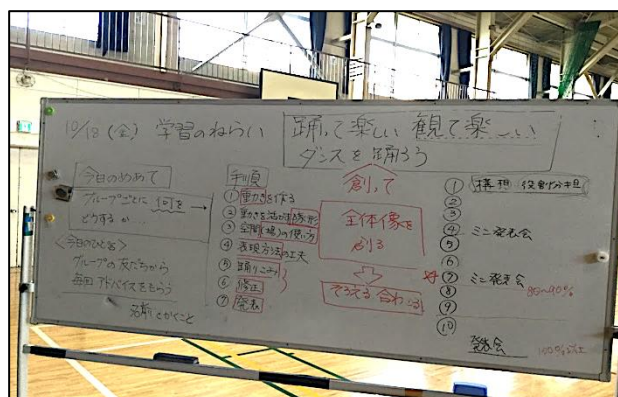
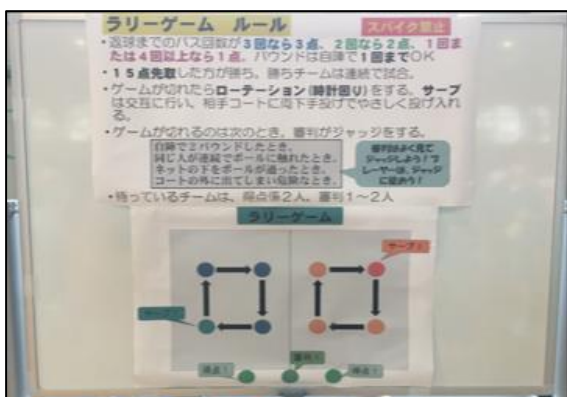
## 1 はじめに

技能向上を図る上で自ら課題に対し解決する方法を考えることは、重要である。特に、学習中の話し合い活動は、課題に気付くきっかけとなる。近年、主体的・対話的で深い学びの視点から、コミュニケーション能力を高めるための実践が工夫されており、授業者によって実践方法は様々である。道筋を立てて練習方法や作戦を考え、改善の方法など話し合ったり他者に伝えたりする活動は、思考力・判断力・表現力等を育むことに繋がる。そこで、今年度はコミュニケーション能力を高めるための手立てとしてホワイトボードの活用に焦点を当てて実践にいくつか紹介する。

## 2 教師主導型

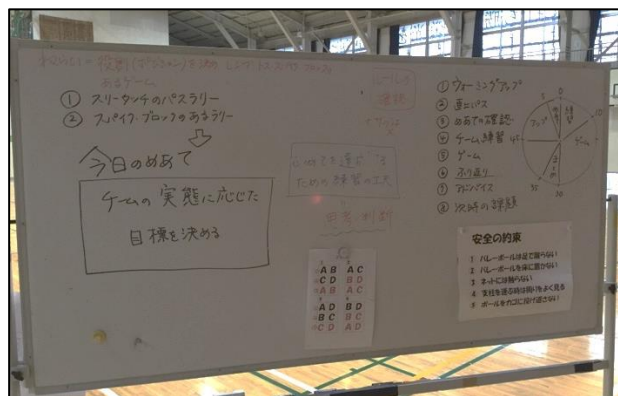
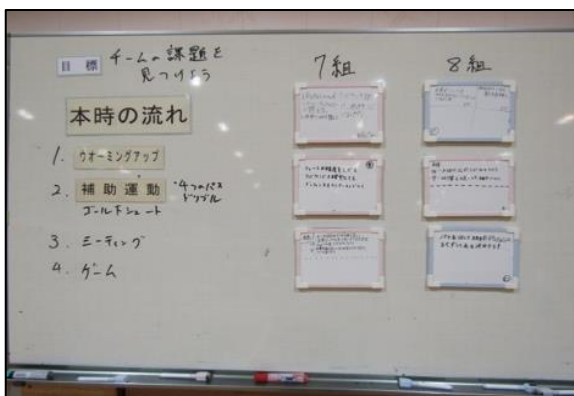
### (1) オリエンテーション

- 単元のねらいや、ルールを掲示し、追加するものに関してはホワイトボードに追記する等の活用し、生徒に見通しを持たせるようにする。一連の流れや約束などが確認でき、スムーズな授業展開に繋がる。



### (2) 毎授業の流れ

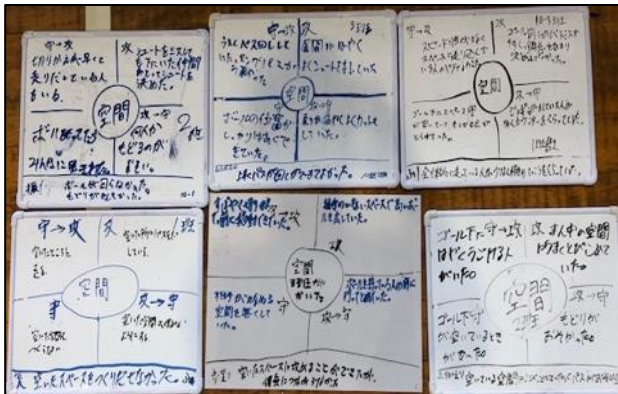
- 生徒たちが目的意識を持って、意欲的に学習活動に参加できる。
- 目的や流れが明確になり、達成感を感じ、次の学習への意欲に繋がる。
- 振り返りを行う際に生徒から出た意見を集約し情報を共有することができる。



### 3 生徒主導型

#### (1) グループ活動

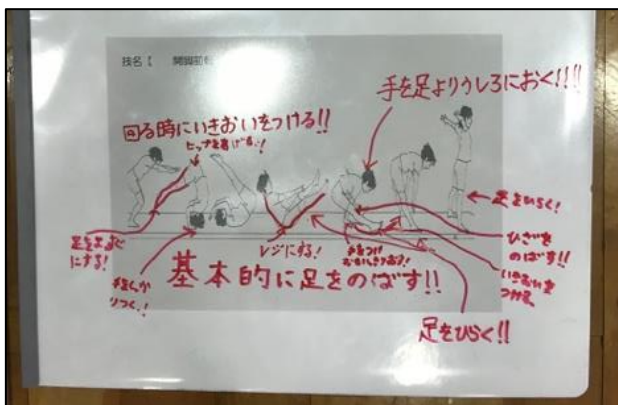
- ・1つのキーワードに対して、チームで話し合ったものを視覚化する。
- ・チームで話し合った作戦や目標をホワイトボードに掲示し、全体に共有することができる。



#### (2) 技能のポイントをまとめる

##### 【マナボードの活用】

- ・グループで話し合った内容を書き込み、情報の共有化することができる。
- ・シートの下に教師が作成したプリントを挟むことができるため使い方は様々である。
- ・生徒が書いたり消したりしながら話し合い活動を行うことで話し合いが活性化される。



### 4 おわりに

#### (1) 成果 (○) と課題 (△)

- ホワイトボードを活用する中で生徒同士のコミュニケーションが取りやすくなった。
- 書き記すことにより話し合いの様子を教師が確認できることで評価しやすくなる。
- △ホワイトボードと学習カードの両立や評価方法が難しい。
- △活用方法や導入するタイミングを逃すと使用しづらい。
- △大規模校（120人での体育）で行う際に準備が大変である。

#### (2) 今後の方向性

生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するためには、お互いの知識を活用し合い、技能の向上に学習の工夫が必要となる。ペアやグループで話し合いを活性化させるための手立ての一つとしてホワイトボードの活用は有効である。体を動かす機会を十分確保する事を前提に、目的や場面に応じたその他のツール（ICT機器など）とも併用していく事でより充実した活動になることが期待できる。このように様々なツールを組み合わせながら活用していくことで、各種運動の技能向上を実感できれば運動の楽しさを感じ、主体的に運動を楽しむ生徒の育成に繋がるのではないかと考える。